

## 日 本 史

〔 I 〕 古代・中世の外交や国際関係にかかわる人物を説明した文章A～Fを読んで、空欄（ア）～（オ）に入る適切な語句を解答欄I-Aに漢字で記し、空欄（カ）に入る読みを解答欄I-Aにひらがなで記せ。また、空欄（①）～（⑫）に入る適切な語句を下記の〔語群〕から選び、その番号を解答欄I-Bに記入せよ。同一記号の空欄には同一の語句が入る。さらに、それぞれの文章に付された【設問a】～【設問f】に答えよ。 （60点）

A 小野妹子は推古天皇15年（607）遣隋使として渡海する。「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す」という隋に臣属しない国書は煬帝の怒りを買った。妹子は翌年には隋使の裴世清とともに帰国し、同年に再び遣隋使に任じられ、（ア）・（①）・僧旻ら8名の留学生をともなって隋に渡った。（ア）・（①）は、その後32年間にわたって大陸で過ごして、隋の滅亡と唐の建国を目の当たりにし、舒明天皇12年（640）に新羅経由で帰国した。（ア）は中大兄皇子や中臣鎌足に周公・孔子の教えを授けたとされるが、同時に時代の推移や国家の興亡をめぐる留学先での（ア）の体験が二人に与えた影響も大きく、大化改新を導く一つの重要な契機となったと考えられる。また、（①）は、改新政府において僧旻とともに（②）に任じられ、その政策立案に尽力した。

【設問a】下線部aに関して、これに先立つ開皇20年（600）にも倭王「阿每多利思比孤」からの遣使があったことが中国の正史に記されている。当時の日本について記したこの史料の通称を解答欄I-Aに漢字5字で記せ。

B（イ）は地方豪族の出身であったが、霊亀2年（716）に入唐留学生に選ばれ、翌年に阿倍仲麻呂や玄昉らとともに唐に渡って儒学・軍事・律令などを幅広く学び、加えて礼学についての知識を得た。律令法のみを受容していた日本に『唐礼』130巻をもたらした意義は大きい。帰朝後は聖武天皇や光明皇后にその知識をかわれて重用された。天平9年（737）に起こった（③）による国家的打撃を受けて、天平10年（738）に（④）が右大臣として政権

を握ると、玄昉とともにそのブレインに抜擢された。こうした政治は藤原氏の反発を招き、天平12年（740）8月には藤原広嗣の乱が起こっている。孝謙天皇が即位して以降、（④）は政権の主導権を藤原仲麻呂に奪われることになる。そして（イ）は天平勝宝3年（751）に遣唐副使に任じられ、翌年遣唐大使の藤原清河とともに入唐、文化の継受の方面で大きな役割を果たした。

【設問 b】 下線部 b に関して、この時の遣唐使には、ある僧侶の来日を要請する目的もあった。その僧は天平勝宝5年（753）帰国する遣唐使船に同乗し、屋久島を経て無事日本に到着した。この日本に戒律を伝えた僧侶の名を解答欄 I-A に漢字で記せ。

C （ウ）は平安初期に活躍した官人で、延暦23年（804）の遣唐使で唐の長安に渡り、大同元年（806）に僧（⑤）とともに帰国した。隸書を得意とし、嵯峨天皇・（⑤）とともに三筆の一人に数えられる。承和9年（842）に嵯峨太上天皇が崩御すると、皇太子恒貞親王を奉じて反乱を企てたとして捕らえられ、伊豆配流の途上、遠江国で病死した。この政変は藤原良房の陰謀であったとされ、（ウ）自身も罪状否認のまま没したため、のちに貞観5年（863）に平安京内の神泉苑で催された（⑥）では崇道天皇や伊予親王らの政治的敗者とともに怨霊として祀られた。この（⑥）はやがて疫病を防ぐ祭礼として特化し、祇園社の祭りなどの起源ともなった。

【設問 c】 下線部 c に関して、空欄（ウ）の人物の祖父もまた天平勝宝9年（757）に当時の権力者藤原仲麻呂の排斥計画を企てて処刑されている。その人物名を解答欄 I-A に漢字で記せ。

D 菅原道真は、文章生・文章得業生を経て政治の世界に躍進した人物で、（⑦）の信任を受けて寛平5年（893）に参議となって公卿の列に並んだ。寛平6年（894）に50余年ぶりに遣唐使の派遣が計画され、道真が遣唐大使に任じられたが、航海の危険と唐の衰退・治安の乱れをあげた上奏文を提出して再考を求めた。これ以降遣唐使派遣の計画は途絶した。従来は、こうした9世紀末の国交の途絶により外国文化の影響が低下して、10～11世紀には平仮名の普及を基礎とする国文学の発達、大和絵や和様書風の誕生など、「（エ）」と呼ばれる日本独自の文化が開いたと説明されてきた。しかし、こうした

「唐風文化」に対する「(エ)」という図式は近年見直されつつある。新羅や唐の商人はこれまで以上に頻繁に来航し、外国の文物の流入はむしろ活発になっていた。三跡(三蹟)と称される小野道風・藤原佐理・(⑧)らの書風も和様の典型とされてきたが、すでに無き盛唐時代の古典的書風の影響が濃厚であることが指摘されている。そして、朝廷は大宰府に来航した唐や宋の商人を統制管理するために弁官や(d)の官人を唐物使として派遣し、香料・薬品・漢籍・経典・陶磁器・錦綾などの商品の先買いをおこなっていた。

【設問d】空欄(d)には内廷官司や御厨・供御人を運営統括する組織の名称が入る。弘仁元年(810)の薬子の変を契機に嵯峨天皇により設置された令外官に起源をもつこの組織名を解答欄I-Aに漢字3字で記せ。

E 平忠盛<sup>e</sup>は、大治4年(1129)、保延元年(1135)の2回にわたり瀬戸内海<sup>e</sup>の海賊を追討して海上交通の主導権を獲得し、他方では鳥羽院領であった肥前国(⑨)の預所となり、大宰府の権限を排して日宋貿易に積極的に関与するようになる。これを受けた嫡男の平清盛は、瀬戸内海航路の整備をさらに進めた。(⑩)の修築や経ヶ島の築造に力を注ぎ、この地を日宋貿易の拠点にしようとしたのである。これにより12世紀に博多や箱崎に住みつくようになっていた宋の商人は、さらに摂津まで直接来航することが可能になった。また、清盛と平家一門はその繁栄を願って、渡航安全の守護神を祭る安芸国の(オ)神社に「平家納経」を奉納している。

【設問e】下線部eに関して、彼の父は伊賀国鞆田荘を白河上皇建立の六条院に寄進して、北面の武士となり、嘉承3年(1108)に出雲で反乱を起こした源義家の子義親を追討、また西国の海賊追捕などに活躍して、院の近臣として平家の躍進のきっかけを作った人物である。この人物名を解答欄I-Aに漢字3字で記せ。

F 肥富は室町時代の博多商人であり、瑞溪周鳳の『(⑪)』によれば、「肥富」は(カ)と読むようである。彼は明から帰国した際に「两国通信の利」を足利義満に説き、それによって応永8年(1401)の遣明船が発遣されることになったという。正使には(⑫)が、副使には肥富が任じられた。(⑫)は將軍の側近で美術工芸品の鑑定管理や芸能諸雑事に携わった同朋

衆であったともいわれ、商人を介した文物の受容に遣明船の一つの大きな目的があったことが窺われる。この遣明船による公的な日明交易は、冊封に基づく朝貢形式をとることが求められ、永楽2年（1404）以降は勘合と呼ばれる外国船管理のための証票の持参が義務付けられた。

【設問 f】 下線部 f を象徴する出来事として、明皇帝は足利義満に「日本国王（ f ）」宛返書と明暦を付与した。（ f ）に入る漢字3字を、解答欄 I－A に記せ。

〔語 群〕

- |            |             |           |
|------------|-------------|-----------|
| 1. 道 慈     | 2. 絶海中津     | 3. 内 臣    |
| 4. 文章博士    | 5. 御斎会      | 6. 年行事    |
| 7. 粟田真人    | 8. 大 祓      | 9. 宇多天皇   |
| 10. 空 海    | 11. 柿田荘     | 12. 長屋王   |
| 13. 恵美押勝   | 14. 円 珍     | 15. 鴻臚館   |
| 16. 十三湊    | 17. 藤原公任    | 18. 孟蘭盆会  |
| 19. 鬼室福信   | 20. 大輪田泊    | 21. 嵯峨天皇  |
| 22. 怨霊の猛威  | 23. 蝦夷の反乱   | 24. 清和天皇  |
| 25. 国博士    | 26. 刀伊の来襲   | 27. 五経博士  |
| 28. 御霊会    | 29. 善隣国宝記   | 30. 藤原行成  |
| 31. 高向玄理   | 32. 小野小町    | 33. 橘諸兄   |
| 34. 鹿子木荘   | 35. 老松堂日本行録 | 36. 神埼荘   |
| 37. 天然痘の流行 | 38. 醍醐天皇    | 39. 和氣清麻呂 |
| 40. 三国湊    | 41. 犬上御田鍛   | 42. 最 澄   |
| 43. 阿氏河荘   | 44. 元亨釈書    | 45. 祖 阿   |
| 46. 在原業平   | 47. 続本朝往生伝  | 48. 蓮 如   |

〔Ⅱ〕 以下の史料（あ）～（う）を読み、それぞれの設問に答えよ。ただし、史料を読みやすくするため修正を加え、傍注などを施した。 (45点)

(あ) 定

- 一 諸国海上において賊船の儀、堅く御停止成さるるの処、今度備後・伊予兩國の間伊津喜嶋にて、盗船つかまつるの族これあるの由、聞し召され、曲事くせごとに思し召す事
- 一 国々浦々船頭・獵師、いづれも舟つかい候もの、その所の地頭・代官として速やかに相改め、向後いささかも（イ）つかまつるまじき由、誓紙申し付け、連判をさせ、その国主とりあつめ上申すべき事
- 一 自今以後、給人・領主油断いたし、（イ）の輩やからこれあるにおいては、御成敗加えられ、曲事の在所・知行以下、末代召し上げらるべき事  
右条々堅く申し付くべし、もし違背の族これあらば、たちまち嚴科に処さるべきもの也

天正十六年七月八日（朱印）

【設問 a】 下線部ア「伊予」は現在の都道府県のどこにあたるか、漢字 3 字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問 b】 （イ）に入る語句を漢字 2 字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問 c】 この法令は、刀狩令と同時に発布され、海民の武装解除を目的としたものであるが、誰によって出されたものか、その人物の名前を漢字 4 字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問 d】 この法令を出した人物は、ある宗派の本寺跡に大坂城を築くが、その宗派は何か、以下の語群から 1 つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 真言宗      2. 浄土宗      3. 浄土真宗      4. 日蓮宗

【設問 e】 この法令を出した人物は、京都に聚楽第を建てたが、それを譲られた人物は、そののち謀反を企てたという理由で自害させられた。自害させられたこの人物は誰か、以下の語群から 1 つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 徳川家光      2. 豊臣秀次      3. 徳川秀忠      4. 豊臣秀頼

【設問 f】 この法令を出した人物は、大内裏跡に建てた聚楽第に天皇の行幸を仰

いだが、その天皇は誰か、以下の語群から1つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 正親町天皇 2. 後陽成天皇 3. 光格天皇 4. 孝明天皇

(い) 覚

一 捨子これあり候はば、早速届け及ばず、その所の者いたわり置き、直ちに養い候か、又は望みの者これあり候はば、遣わすべく候、急度付け届け及ばず候事

一 鳥類・畜類・人の疵<sup>きず</sup>付き候様なれば、ただいままでの通り相届くべく候、その外とも食い又はおのれと痛煩候ばかりにては、届け及ばず候、随分養育いたし、主これあり候はば、返し申すべく候

一 主なき犬、頃日は食物給させ申さず候様に相聞え候、畢竟食物給させ候えば、その人の犬の様にまかりなり、以後までむつかしき事と存じ、いたわり申さずと相聞え、ふとどき候、向後左様これなき様相心うべき事

一 飼い置き候犬死候えば、支配方へ届け候様相聞え候、別条なきにおいては、向後かよりの届け無用の事

一 犬ばかりに限らず、すべて（ウ）人々慈悲の心を本といたし、あわれみ候儀肝要の事

(後略)

【設問 g】空欄（ウ）に入る語句を漢字2字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。なお、この語句はこの法令の通称にも用いられている。

【設問 h】この法令を出した将軍の名前を、漢字4字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問 i】この将軍は、家族や近親者が亡くなった際に、喪に服する期間を定めた法令も出した。その法令は何と呼ばれたか、漢字3字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問 j】この将軍は儒教を重んじ、江戸に孔子廟を建てた。その廟の名前を以下の語句より1つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 湯島聖堂 2. 養賢堂 3. 含翠堂 4. 芝蘭堂

【設問 k】この将軍の政権が成立すると、大老堀田正俊が補佐役となった。正俊

の暗殺後は柳沢吉保がその役割を担うが、柳沢は何という役職であったか、以下の語句より1つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 大目付      2. 寺社奉行      3. 側用人      4. 若年寄

【設問1】「文武忠孝を励し、礼儀を正すべき事」で始まる法令はこの將軍の治政下であった天和3年（1683）に出されたが、寛永、元和期にも出された法令の改定という意味もあった。それらの法令は何と呼ばれたか、以下の語句から1つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 禁中並公家諸法度      2. 惣無事令  
3. 一国一城令      4. 武家諸法度

(う) (前略) 天子御在所の(エ)へハ、廻米の世話も致さざるのみならず、五升一斗位の米を買いに下り候ものを召捕えなどいたし、(中略) 言語道断、何れの土地にても人民ハ徳川家御支配のものに相違なき処、(中略) 三都の内大坂の金持ども、年来諸大名へかし付候利徳の金銀ならびに扶持米等を莫大に掠取し、未曾有の有福に暮し、町人の身を以て大名の家老・用人格等に取用いられ、または自己の田畑・新田等を夥しく所持し、何に不足なく暮し、この節の天災・天罰を見ながら畏も致さず、餓死の貧人・乞食をも取<sup>オ</sup>えて救わず、(中略) この度有志のもの<sup>かしこまり</sup>と申合せ、万民を悩まし苦しめ候諸役人を先ず誅伐<sup>ちゅうばつ</sup>いたし、引続き驕りに長じ居候大坂市中金持の町人どもを誅戮<sup>ちゅうりく</sup>および申すべく候 (後略)

【設問m】この史料は、天保8年（1837）に、大塩平八郎が同志らとともに大坂で蜂起した際にまいた「檄文」の一部である。空欄(エ)に入る都市名を漢字2字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問n】この檄文を書いた大塩は、元大坂町奉行所の役人であった。その役職名を漢字2字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問o】大塩は、自宅に家塾を開き陽明学を講じた。その家塾の名称を漢字3字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問p】下線部オの「天災」とは「天保の飢饉」を指す。江戸期にはそのほか3度の大きな飢饉にみまわれたが、この3度の飢饉ものちに元号を付して呼ばれるようになった。以下の組み合わせから正しいものを1つ選び、その番

号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 元和・慶安・元禄 | 2. 寛永・享保・天明 |
| 3. 文化・文政・慶応 | 4. 宝暦・寛政・弘化 |

【設問 q】大塩の門弟と称して、越後柏崎で陣屋を襲撃した国学者は誰か、以下の語群から正しいものを1つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- |         |        |         |        |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. 新井白石 | 2. 伴信友 | 3. 賀茂真淵 | 4. 生田万 |
|---------|--------|---------|--------|

【設問 r】大塩の乱がおこった年に、アメリカの商船が浦賀沖に接近し、交易を図ろうとした。その商船の名前は何か、以下の語群より正しいものを1つ選び、解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. フェートン号 | 2. モリソン号   |
| 3. ミズーリ号  | 4. ノルマントン号 |

〔Ⅲ〕 次の文章(1)～(3)を読んで、【設問 a】～【設問 e】ならびに【設問 ア】～【設問 ソ】に答えよ。(45点)

(1) 以下は中島岳志氏と島蘭進氏によるナショナリズムをめぐる対談の一部である。

中島 (前略) 国学は、もともと中国への対応から広まりました。「中国は王朝が変遷しているが、日本は万世一系である。それならば、中国よりも日本のほうが儒教的である。だったら、日本の連綿としたものを追求すべきだ」というのが国学の拡大した契機です。背景には江戸初期に起きた明から清への王朝の変化がありました。

ここで国学者は、日本的な「大和心」と中国的な「漢意」という区別を設けるのです。<sup>a</sup>

中国的な「漢意」とは、「政治はこうあるべきだ」という理知的なヴィジョンを持つことです。それに対して、日本では、理知的なヴィジョンの追求などといった設計主義的な態度を取るべきではない、と国学者は考えます。天皇と人民が神意に従って一体化しているような世界が理想であり、<sup>b</sup>そういったユートピア的な世界は古代日本において成立していたのだからと。



幕末期になると、古代日本のあり方に立ち戻れば日本はうまくいくはずだというユートピア主義が広まっていきました。とくに封建社会への反発としてユートピア主義は流行し、倒幕の動きを加速させていった。(後略)

島菌 中島さんは、国学的な側面から王政復古を説明されましたが、私自身は、儒教の影響を重要視しています。幕末の尊皇論から維新へと導いた王政復古へとつながる思想では、儒教の影響にも十分、注意を向ける必要があります。

尊皇論に大きな影響を与えた後期水戸学は、そもそも儒教を背景にしています。国体という言葉も後期水戸学の会沢正志斎が1825年に出した（ウ）の冒頭で「国体」という章を掲げ理論的に体系化し、その後の展開を方向づけたと言われているから。

ただ、日本の儒教は、元来の中国の儒教とは少し違った形で、発展してきました。もともとの儒教では、祖先や親を敬う「孝」が、君臣間の徳目である「忠」よりも優先されます。それに対して、日本の儒教では、祖先への「孝」よりも君主への「忠」のほうを重視する傾向が強くなりました。

ですから、維新という運動も、天皇に対する忠誠を掲げる復古であり、革新であると儒教的に理解されていたのではないのでしょうか。

それと同時に、キリスト教を押しつける西洋に対抗する精神基軸として、天皇への忠誠を持ち出したとも言えるでしょう。1867年の「王政復古の号令」では、ペリー来航に始まる「未曾有ノ国難」を神武天皇以来の神話的過去に立ち返って克服するのだと宣言しています。

また、明治維新の年には、「祭政一致布告」が出されます。天皇による神道的な祭祀と政治とを一元化させ、国民的団結を強化し、国家統一を進めるのだという宣言です。(後略)

(前略) 明治維新の重心は、儒教から派生した尊皇の政治の希求と古代律令制の日本版である神道国家への回帰にあるのではないのでしょうか。

具体的に言えば、記紀神話や皇室儀礼に基づき、たとえば神祇官などというものを作って、律令制度ができた時の古代の体制に戻ろうとした。明治維新直後に設置された神祇官は、数年間だったとはいえ、政府の最高官庁だった。その時期に皇室祭祀が近代国家の軸として整えられていったのです。(後略)

(中島岳志・島園進『愛国と信仰の構造 全体主義はよみがえるのか』、集英社新書(2016年)。ただし、一部省略した箇所がある。)

【設問 a】 下線部 a のような思考は本居宣長にも顕著である。宣長の注釈書で、巻 1 に「直毘靈」<sup>なおびのみたま</sup> を収め、日本古来の「真心」に返ることを強調した書は何か。解答欄Ⅲ－A に漢字で記せ。

【設問 b】 下線部 b に言われるような「神意に従って」行うこと、「<sup>かなながら</sup>惟神の道」を説く復古神道を大成させた秋田の人で、『靈の真柱』を著したのは誰か。解答欄Ⅲ－A に漢字で記せ。

【設問 c】 下線部 c にある「ユートピア主義」は、たとえば大本教の開祖出口なおの「筆先」に記された次のような言葉に表現されている。「三ぜん世界一度に開く梅の花、<sup>うしとら こんじん</sup>良の金神の世に成りたぞよ。(中略) 三千世界の<sup>うしとら</sup>大洗濯、大掃除を致して天下泰平の世を治めて、<sup>うしとら</sup>万古末代続く神国の世に致すぞよ」。幕末から明治初期にかけて創唱された民衆宗教にはこれと同様の「世直し」願望が反映している。大本教に先立つ天理教、金光教等は神社神道と区別され、宗教として公認された。このような神道を  神道と呼ぶ。 に当てはまる語句を解答欄Ⅲ－A に漢字 2 字で記せ。

【設問 d】 下線部 d 「国体」は、1945年 8 月 14 日にポツダム宣言受諾を決め、無条件降伏した際、大日本帝国が最後まで固守しようとしたものである。天皇制を保全しようとするこのような姿勢を国体  と呼ぶ。 に当てはまる語句を解答欄Ⅲ－A に漢字 2 字で記せ。

【設問 e】 下線部 e の「祭政一致布告」による神仏分離は廃仏毀釈の嵐をもたらしたが、仏教側でも教理の純粹性の上に新生を図ろうとする動きが始まった。浄土真宗本願寺派の僧で、明治政府の神道国教化政策に反対し、真宗を国の大教院から離脱させる運動を推進した人は誰か。解答欄Ⅲ－A に漢字で記せ。

【設問ア】 下線部アの「国学」の起源は古典研究に基づく古代精神の探求にある。歌学を学び、『源氏物語湖月抄』など多くの古典注釈書を著した俳人は誰か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－B に記入せよ。

1. 戸田茂睡
2. 西山宗因
3. 加賀千代
4. 北村季吟

【設問イ】 下線部イの「水戸学」の尊攘思想を説く『弘道館記述義』を著した人

は誰か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 藤田幽谷    2. 藤田東湖    3. 伴 信友    4. 高橋景保

【設問ウ】空欄（ウ）に適する書名を次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 『新論』                                2. 『経世秘策』  
3. 『孝義録』                              4. 『出定後語』

【設問エ】下線部エにある「キリスト教」の受容のあり方には、日本の内発的な思想との共鳴を示したものもある。内村鑑三、海老名弾正らは、日本陽明学の祖とも言われる人の思想にキリスト教の靈性と近いものがあるとして賞賛した。近江小川村出身のこの人は誰か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 熊沢蕃山    2. 山鹿素行    3. 中江藤樹    4. 谷 泰山

【設問オ】下線部オにある「天皇による神道的な祭祀」の一つである「新嘗祭」は、明治政府によって国家の祝祭日に定められたが、これは戦後、天皇の国事行為から切り離されて別の呼称の祝日として制定されるに至った。それは何月何日か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 4月29日    2. 10月10日    3. 11月3日    4. 11月23日

【設問カ】下線部カの「神祇官」は1869年に導入された復古的色調の強い太政官制では太政官の外に置かれたが、それに先立つ政体書官制では三権分立のもとで行政権を司る五官の一つとして位置づけられていた。政体書は副島種臣・福岡孝弟の起草によるが、彼らが参考にしたのはどこの国の制度か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. イギリス    2. ドイツ    3. フランス    4. アメリカ

(2) 鳥取市久松山の麓に2階建ての白亜の木造洋風建築、仁風閣（国重要文化財）がある。1907（明治40）年皇太子嘉仁親王（後の大正天皇）の鳥取行啓に際して、旧藩主家第14代当主の池田<sup>キ</sup>伸博が宿舎として建造し、提供したものである。設計した建築家片山東熊は工部大学校第1期の卒業生であり、同窓には東京駅や日本銀行本店を設計した（ク）がいる。仁風閣南側の宝隆院庭園は、1863（文久3）年に第12代藩主池田慶徳によって建造された扇

御殿の庭であった。

最後の鳥取藩主池田慶徳について、県立高等学校で教鞭をとり、郷土史を研究した濱崎洋三氏は次のように述べている。『鳥取藩史』は、『慶徳が藩主となった後も父烈公のもとへ日誌を送り施政の批判を請うと共にその起居も具さに報じた』と記している（中略）。父死後においても、『攘夷という烈公の遺志をよく継いだ』と藩史は記している。しかし、この『攘夷』も、（ケ）の没する万延元年（1860）の時点までの攘夷論に終始していたと思われる。（ケ）の攘夷論は、水戸学的な尊王敬幕論に支えられたものであり、幕政改革のためのそれであった。ところが、文久期（1861～3）に多くの志士・草莽によって展開される攘夷論は、幕府否定・倒幕へと向う動向を持っていた。この文久期にあっても、慶徳は水戸学的攘夷論、観念論的攘夷論で国事周旋に当らうとする時代錯誤的な行動をとったのである。』（『伝えたいこと 濱崎洋三著作集』、定有堂書店）

【設問キ】 下線部キの「池田仲博」は徳川慶喜の五男である。正岡子規の門弟である俳人が著した『十五代将軍』という散文には、慶喜・仲博父子に招かれて酒席で俳句談義をしたと記されている。子規を後見とする俳句雑誌『ホトトギス』の経営を引き継いだこの俳人は誰か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 伊藤左千夫
2. 長塚 節
3. 斎藤茂吉
4. 高浜虚子

【設問ク】 空欄（ク）には東京帝国大学工科大学長を務め、後に民間の建築家として多くの洋風建築を設計・施工した建築家が入る。それは誰か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 荻原守衛
2. 朝倉文夫
3. 辰野金吾
4. 山本芳翠

【設問ケ】 空欄（ケ）には池田慶徳の父（文中の「烈公」）で、水戸藩にあって幕政にも参与し、将軍継嗣問題では一橋派として行動した人物が入る。それは誰か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 徳川昭武
2. 徳川家達
3. 徳川斉昭
4. 徳川慶福

(3) 以下はいわゆる「大逆事件」に連座して、無期懲役のまま獄死した真宗大谷派の一僧侶の事績を跡づけた文章の一部である。

「大逆事件が捏造されたものであること、その冤罪性をいち早く見抜いたのは（コ）だった。（コ）は評論だけでなく、大逆事件の犠牲者たちに共感する詩「ココアのひと匙」を発表している。当時の文学者たち、与謝野鉄幹、与謝野晶子、（サ）、中里介山、森鷗外、正宗白鳥も気付いていた。しかし、作品の内面に沈潜し、直接的に表面には現れにくいものであった。

ただ一人徳富蘆花（健次郎）だけは死刑執行間もない2月1日に、第一高等学校で「謀叛論」という講演をして当局を批判した。彼はそのなかで、幸徳たちを『自由平等の新天地を夢み、身を捧げて人類のためにつくさんとする』『志士』と呼び、『死は彼らの勝利』であると断じ、志士をただ殺す以外に能のない閣臣、検察当局を痛罵した後、『諸君、われわれは生きねばならぬ。生きるために常に謀叛しなければならぬ。自己にたいして、また周囲にたいして』と結んだ。そのなかに宗教家に対する厳しい批判も出てくる。『出家僧侶、宗教家などには、一人位は逆徒の命乞いする者があって宜いのではないか。然るに管下の末寺から逆徒が出たと云っては大狼狽で僧籍を剥いたり、恐れ入り奉るとは上書しても、御慈悲と一句書いたものがない。何という情けないこと乎』。（『高木顕明の事績に学ぶ学習資料集』、真宗大谷派（東本願寺）。ただし一部省略し、表現を変えた箇所がある。）

【設問コ】空欄（コ）には、評論『時代閉塞の現状』を書き、かねてより抱いていた社会主義への関心を大逆事件によって深めた歌人・詩人が入る。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 上田 敏
2. 石川琢木
3. 北村透谷
4. 北原白秋

【設問サ】空欄（サ）には、戦前・戦後の風俗誌として貴重な『断腸亭日乗』を著した自然主義的作風の作家が入る。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 永井荷風
2. 菊池 寛
3. 吉川英治
4. 大佛次郎

【設問シ】下線部シの「中里介山」が著し、1913年から『都新聞』に連載された未完の長編小説の題名は何か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 『大菩薩峠』
2. 『放浪記』
3. 『羅生門』
4. 『蠅』

【設問ス】下線部スの「徳富蘆花」による講演を聴いた学生の中には、後に東京帝国大学教授となり、『中央公論』誌上に発表した論説「国家の理想」などで政府の大陸政策を批判して1937年に辞職した人がある。それは誰か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 安部磯雄
2. 井上哲次郎
3. 戸水寛人
4. 矢内原忠雄

【設問セ】下線部セの「幸徳」、すなわち幸徳秋水は1887年に上京し、自由民権運動に参加した。その際彼が師事した人で、『民約訳解』を出版してルソーの思想を紹介したのは誰か。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 中江兆民
2. 植木枝盛
3. 加藤弘之
4. 馬場辰猪

【設問ソ】下線部ソにあるような「逆徒」とされ、真宗大谷派から擯斥処分を受けた高木顕明は、「余が社会主義」という草稿の書き出しで次のように記している。「余が社会主義とはカールマルクスの社会主義を稟けたのでない。又トルストイの非戦論に服従したのでもない。片山君や枯川君や秋水君のように科学的に解釈を与へて天下ニ鼓吹すると云ふ見識もない。けれども余は余丈けの信仰が有りて、実践して行く考へであるから夫れを書いて見たのである」。ここで言及される「片山君」、すなわち片山潜らが1906年に結成した日本社会党の存続を認めた内閣はどれか。次の語群から選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 第1次西園寺公望内閣
2. 第2次西園寺公望内閣
3. 第1次桂太郎内閣
4. 第2次桂太郎内閣